

第15回 電気システムセキュリティ特別技術委員会
議事録(案)

日時 : 平成27年 6月 26日(金) 15時00分~17時20分

場所 : 自動車会館 2階 小会議室

出席者 : 栗原委員長, 福永委員(A部門長), 徳田委員(A部門代表), 遠藤様(佐藤委員(B部門代表)代理), 泉井委員(C部門代表), 川上委員(D部門代表), 野田委員(E部門代表), 笹岡委員(E部門代表), 餘利野委員(2号委員), 奥村委員(2号委員), 毛塚委員(2号委員), 桂幹事(敬称略), 以上12名

配付資料

- 資料15-0 第15回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事次第
- 資料15-1 第14回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事録(案)
- 資料15-2-1 電気システムセキュリティ特別技術委員会 委員名簿
- 資料15-2-2 委員会構成員変更届
- 資料15-3-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料15-3-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料15-3-3 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」活動報告
- 資料15-3-4 「スマートグリッドのスマートファシリティ内における EMC 環境特別調査専門委員会」活動報告
- 資料15-3-5 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料15-4 電気システムセキュリティ特別技術委員会関連進捗状況
- 資料15-5 平成28年電気学会全国大会シンポジウム関連

議事概要

1 開会挨拶

栗原委員長より, 開会にあたり挨拶があった。

2 前回議事録の確認

資料15-1に基づき, 平成27年3月24日に開催された第14回委員会の議事録(案)について確認を行い, 承認された。

3 委員交替について

3-1 電気システムセキュリティ特別技術委員会

E 部門代表 野田和俊委員(産業技術総合研究所) から笹岡賢二郎委員(東京工科大学) への交替について審議され, 承認された。

3-2 Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会

牧野利徳委員(中部電力) から廣澤徹委員(中部電力) への交替について審議され, 承認された。

4 特別調査専門委員会からの報告

4-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」(徳田委員(瀬戸委員代理))

資料15-3-1に基づき, 活動状況について報告があった。5月18日に開催された第5回委員会での審議内容について報告された。

技術報告の目次案について紹介された。次回の特別技術委員会にて概要をご説明頂く。

(笹岡委員) 調査内容は一般書籍として出版が可能か。
(福永委員) 技術報告として出版をする予定である。

(餘利野委員) ビキニ環礁の核爆発実験で、ハワイの電力システムに被害があったとのことだが、原因は何なのか。

(徳田委員) 高高空での核爆発によって発生した電磁パルス波による影響が遠方まで及ぶ。

4-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」(餘利野委員)

資料15-3-2に基づき、活動状況について報告があった。

3月24日に開催された第7回委員会での審議内容について報告された。別途、第6回(1月16日)、第7回(4月8日)作業会を開催した。

第5回シンポジウムを全国大会シンポジウムとして開催した。聴衆者は約100名であった。外部講師として関西学院大学経済学部の野村宗訓教授を招いた。

学会誌(本誌)での特集記事「安全・安心社会の電気エネルギーシステム」を企画している(平成27年11月号、12月号)。内容はシンポジウムの内容を拡張したものを考えている。

- ・11月号:「電力システムを取り巻く環境と課題・展望」
- ・12月号:「安全・安心社会に向けての課題と将来への取り組み」

(泉井委員) シンポジウムでの質問内容はどんなものが多いのか。

(餘利野委員) 一般から専門家まで広い参加があるが、需要側資源などについて関心が高い。

(笹岡委員) エネルギーのベストミックスは国の方針が出ているが、どのように考えているのか。

(餘利野委員) 全てのケースについて長所・短所を見て、問題意識を持って頂くことが重要である。
現状について情報提供も行っている。

(泉井委員) 委員会で検討したベストミックスは数値計算結果の一つであり、電気学会としての総意でないことを明確にしてもらえれば良いのではないかと。

(餘利野委員) 事実を伝えることが中心である。意見を入れた方が良いかもしれないが、慎重になっている。

(徳田委員) 東京ビッグサイトで開催された第1回電力自由化EXPOの基調講演では、主催者側の発表で3,000人以上の参加があり、大変注目を集めている。

(栗原委員長) 野村先生のテーマは英国のみならず、日本のケースも含まれているのか。

(餘利野委員) 英国を例にして示唆を含んで頂く予定である。

(奥村委員) 電力技術の継承については幅広いテーマであるが、大変興味深い。

(餘利野委員) まだ検討を始めた段階であり、教育の問題や国際展開について検討していきたい。

(福永委員) 昔から直流接続についてノウハウが蓄積されていたが、今まさに再生利用可能エネルギーの普及の中で必要とされるのではないかと。

(奥村委員) JABEEなど技術者教育に反映できると良いのではないかと。

(川上委員) パワーアカデミーでの取り組みも紹介頂けると良い。

(栗原委員長) 幅広いテーマについては、特集記事のタイトル内にサブタイトルを付けて頂くと良い。

(栗原委員長) 委員会報告のまとめはどのような形態か。

(餘利野委員) シンポジウムのパワーポイント資料を纏めたものをリーフレットとして合本する形態を考えて

いるが、ここでの議論を踏まえ、委員会に持ち帰って検討したい。

(栗原委員長) 後継の委員会の設置予定等について、次回の委員会までに考えて頂きたい。

4-3 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」(泉井委員(芹澤委員代理))

資料15-3-3に基づき、活動状況について報告があった。

第3回委員会(1月30日)、第4回委員会(4月17日)、第5回委員会(6月10日)での活動内容について報告された。

6月10日に多賀城 Control System Security Center への見学会を行った。

(野田委員) 上下水道について、下水処理場の方がセキュリティの優先度は低くても良いのか。

(泉井委員) すべてについて万全の対策を取るのが望ましいことは理解されているが、実際には優先度を設けざるを得ず、上水道は直接、口に入るため優先度が高い、ということである。

(奥村委員) 都道府県によってシステムが違うと思われるが、統一性はどのように考えれば良いか。

(泉井委員) 自治体により予算規模も異なるのが一因と思われるが、これから検討が必要と思われる。

(栗原委員長) C 部門大会でのシンポジウムで「電力分野のセキュリティ」という内容があるが、どのような内容なのか。

(泉井委員) マネジメントレベルの話しをメインとして、現場の実際の内容等は含まない予定である。

(栗原委員長) 委員会報告のまとめはどのような形態か。

(泉井委員) C 部門大会でのシンポジウムセッションでの報告を考えている。

4-4 「スマートグリッドのスマートファシリティ内における EMC 環境特別調査専門委員会」(奥村委員)

資料15-3-4に基づき、活動状況について報告があった。

1月8日に行われた第3回委員会の議事内容の報告があった。下記の5つの分野について調査・検討を進めている。

- ① BEMS
- ② HEMS
- ③ 静電誘導
- ④ スマートメーター
- ⑤ 接地及びSPD

4-5 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」(毛塚委員)

資料15-3-5に基づき、活動状況について報告があった。

第1回委員会(3月6日)、第2回委員会(3月24日)での審議内容について報告された。

3月6日に(独)情報通信研究所への見学会を行った。

(福永委員) 見学先が直接電力システムと関係ないように見えるが、どのような目的で行われたのか。

(毛塚委員) 再生利用可能エネルギーもあるので、気象なども広く含んでいきたい。

(笹岡委員) 委員会報告のまとめはどのような形態か。

(毛塚委員) 委員会間で足並みを揃える必要があるか。

(栗原委員長) シンポジウムの場合は、全国大会等で幅広く活動を紹介して頂けると良い。

5 今後の活動予定について

資料15-4に基づいて、特別調査専門委員会の設置期限について確認を行った。

(泉井委員) それぞれの特別調査専門委員会の設置時期が異なるので、今後、後続委員会を設置する場合には、完了時期を揃えるなど、何らかの調整が必要ではないか？

(栗原委員長) 現状では各委員会の設置期限が異なっており、また報告形態も委員会ごとに異なるであろう。なお、本特別技術委員会は設置の期限は決められていない。

6 その他

6-1 研究会・シンポジウムへの協賛について (桂幹事)

特別調査専門委員会が研究会・シンポジウム等に協賛する際には、特別技術委員会の承認が必要である。

6-2 平成28年全国大会シンポジウム提案について

資料15-5に基づいて、確認を行った。本部提案として、本特別技術委員会より1件シンポジウムを提案することが承認された。講演テーマ等について幹事より各特別調査専門委員会委員長に確認を行う。締め切りは平成27年10月15日(木)である。

6-3 IEEE Electrical Insulation Conference におけるスマートグリッドに関するワークショップの報告 (福永委員)

ワークショップにおいて委員会の活動の紹介を行った。シンポジウム資料の提供について御礼が述べられた。

以上

次回開催：第16回 委員会：平成27年 9月下旬